

平成21年10月16日

各 位

クミアイ化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 望月信彦
コード番号 4996 東証第1部

環境保全型農薬の開発について

クミアイ化学工業株式会社（社長：望月 信彦）は、「使いやすく、環境負荷の少ない製品」をコンセプトとした新製品の開発を進めています。これまでに微生物農薬「エコシリーズ」、化学農薬と微生物農薬を組み合わせたハイブリッド農薬「クリーンシリーズ」、ドリフトが少なく散布が容易な水稲用農薬「豆つぶ剤」などを開発してまいりました。この度、新たな環境保全型農薬として飛散の少ない水稲病害虫本田防除用微粒剤F（サジェスト微粒剤F、ビームスタークル微粒剤F、ビームアプロードスタークル微粒剤F）3剤の農薬登録を取得致しました。

当社は、平成18年に発足した社団法人日本植物防疫協会が主催する「微粒剤F協議会」に農林水産省、農林水産消費安全技術センター、JA全農、他のメーカーとともに参加し、既存の水稲用DL粉剤が抱えるドリフト（飛散）問題の軽減を目指した研究開発を進め、DL粉剤より圧倒的にドリフトが少ない微粒剤Fの開発に成功しました。当社の微粒剤Fはポジティブリスト制導入によりクローズアップされたドリフトによる周辺作物の基準値オーバーのリスクを軽減させ、食糧の安定生産を担保しつつ周辺環境への負荷を極力抑えることが可能な環境保全型農薬です。本剤開発にあたり当社では薬剤の安定した効果を維持しながらドリフトを抑えるという難題を克服するため、基剤に有効成分を被覆する際の結合剤に工夫をしました（特許出願中）。また、最適な粒径の基剤を使用し、製造面でも有効成分の剥離を抑えるよう製造条件を最適化することでドリフトを抑えつつ稲体への十分な付着を可能とする製剤を完成させました。今後、社団法人日本植物防疫協会、関係省庁、県指導機関、JA全農の協力、支援を受けながら普及に努めてまいります。

当社は、環境保全型農薬メーカーのパイオニアとして更なる商品ラインアップの拡充に努め、高品質で安全性の高い食糧生産に貢献して参ります。

【広報担当者】

クミアイ化学工業株式会社 総務部総務課長 相馬 寿次 TEL：03-3822-5036
研究開発部企画課長 井上 淳 TEL：03-3822-5163